

第4回平戸市行政改革推進委員会 会議録（要点筆記）

日時：平成28年1月13日（水） 10:00～11:50

場所：平戸市役所3階 会議室A B

【出席者】

委員：松永 いづみ、岩井 誠、黒崎 洋介、田中 範子、松口 茂生、
早田 博子

（欠席者：井元 宏三、吉永 享助、福田 詮）

事務局：岡 総務部長、（行革推進課）：平松課長、村田班長、長嶋主事

【次第】

1. 会長及び職務代理者の選任
2. 議事
 - (1) 公共施設等総合管理計画について
 - ・策定までの流れについて
 - ・現在の進捗状況について
 - ・市民アンケートについて
3. その他

【内容】

— 開会（10:00～） —

○平松課長

＜開会の進行＞

— 会長及び職務代理者の選任 —

○岡部長

吉居会長辞退について説明

○松永委員

会長に就任

○岩井委員

職務代理者に就任

— 議 事 —

○会長

議事項目にそって事務局より説明をお願いします。

○事務局（長嶋）

(1) 公共施設等総合管理計画について

公共施設等総合管理計画策定までの背景、業務委託、スケジュールについて資料1により説明。

○アジア航測（野村）

公共施設等総合管理計画策定業務の進捗状況について資料2により説明。

○アジア航測（東口）

公共施設等総合管理計画策定業務における市民アンケート（案）について資料3により説明。

○会長

進捗管理の説明についての質疑応答をお願いします。

○委員

総合管理計画は何年先を見越した計画で、どのタイミングでの見直しを想定しているのか。

○事務局（長嶋）

30年先を見越した計画で、直近10年については具体的な計画とする予定である。以後10年ごとに見直しを考えている。

○委員

30年で10年ごとに見直すということではよいが、施設を廃止するという方針がでたときに、将来の事情が変わった場合どう対応するのか。

○事務局（平松）

資料2（6）の公共施設等の管理方針、削減目標値の検討というところで決めていくところである。

○委員

30年先の人口予測などはどのように予測しているのか。

○事務局（平松）

資料3の5ページにも人口の推移を載せているが、こちらは人口問題研究所が発表している数字である。公共施設適正化基本方針でもこちらの数字を使って人口予測をしている。ただ、企画財政課でも平戸市独自の人口ビジョンを作っているのので、そちらともすり合わせながら進めていこうと考えている。

○会長

この数字は、何も対策をしなければこうなるという予測ということか。

○事務局（平松）

その通り。このようにならないために、企画財政課のほうで総合戦略を策定中ということである。

○委員

施設の見直しを考えるときに、単純に利用されていないから廃止するという考え方でよいのかがひっかかる。政策的に移住人口を増やさないといけないので、学校はそのまま残すという地方自治体もある。利用されていないから、人口が減っていくからという理由で縮小していくのは簡単だが、他の施策との兼ね合いも見ながら、検討していく必要があると思う。

○委員

同意する。総合戦略ではいろいろな施設を利用して、いかに人口を増やそうかという動きに対して、施設を削減していくというのは相反しているように感じる。

○委員

私もそう思う。田平町では校区単位でまちづくりの協議をしており、学校の空き教室を利用した提案を考えている。アンケートの中で複合化の説明をしているが、学校の空き教室を使うというイメージがわからない。もっと横断的に情報共有してもらえば、この辺のイメージも浸透していくのでは。

○事務局（平松）

利用頻度が低いから廃止するというだけでなく、どのような施策があり、どのような設置目的であるか、総合戦略との兼ね合いも見ながら、総合管理計画を作っていかなければならないと理解している。

○事務局（岡）

捕捉させていただく。各部長を委員とした行政改革推進本部会議にて、相反する部分については調整が図られるものと考えている。総合管理計画も総合戦略もまだ途中段階なので、この辺りの調整がまだ図られていないということで理解いただきたい。また、委員の意見と同じで、人口を増やす方向性で施設を残すという視点も持つように市長からも言われている。ただ、まずは現状を把握し、どの程度削減していかないといけないのか将来見通しを立てる必要がある。その後に、各施策との兼ね合いで必要な施設は残したほうがよいといった意見を聞きながら、進めていくよう考えている。

○委員

私が言いたいのは、不要なものは無くすという視点だけであればどんどん進めることができる。しかし、地域では違う方向の活動をしているので、その矛盾を感じている。

○事務局（岡）

そのような意見があるので、本委員会で皆様の意見を聞き、市民アンケートで市民の声を聞き取るというところから入っている。不要なものは無くすという視点だけで進めていないということをご理解いただきたい。

○委員

各施設関係の方々は、どういう理由があってその施設が利用されていないのか知りたいと思う。市民アンケートの中でそのような意見があれば、各施設関係の方々と共有してほしい。

○事務局（平松）

そこは各課と共有して、利用頻度を高めるような方策の検討に活かしていきたい。

○会長

アジア航測株式会社から捕捉があればお願いします。

○アジア航測（野村）

今年度作業している固定資産台帳の整備は、総合管理計画と財務書類の基礎データになる。また、公共施設の現地調査に入り、データからは見えてこない実態を把握する。既存計画との整合性を図りながら総合管理計画を策定していくので、協力のほどよろしくをお願いします。

○会長

それでは、ここで進捗管理についての質疑応答を終了する。引き続き、市民アンケートについての質疑応答をお願いします。

○委員

1点目、対象年齢の上限は設定しているのか。2点目、どの程度の回収率を想定していて、回収率が低くても結果として反映するのか。3点目、個人利用者を対象としているが、利用団体も対象としたらどうか。4点目、アンケート内容が難しい、横文字が多い。5点目、さきほどの説明で地区ごとの分析が重要になる

とのことでしたが、その地区にない施設についての利用状況はどう回答すればよいのか。6点目、その他に分類された施設に公衆トイレと斎場があるが、利用目的がまったく違うものを一括りにしてよいのか。7点目、産業振興施設に分類された施設には、限られた人しか利用しない施設名を載せているがアンケート結果に影響はないのか。

○アジア航測（東口）

1点目について、79歳を上限としている。2点目について、総合計画が2,500名を対象として33%の回答率であったことから、今回も同様の回収率を見込んでいる。3点目について、利用団体も対称とするか事務局と検討する。4点目について、横文字で気になったところは括弧書きで注釈を入れているが、他に対応可能なところがないか再度確認する。5点目について、注釈を入れる等回答しやすいよう対応する。6点目について、わかるように事務局と検討する。

○委員

700～1,000程度の回収があれば市全体の分析は可能だが、地区ごとの分析となると難しい。また、アンケートの対象だが、集会施設やスポーツ施設の利用者は団体が多い。本来であれば、アンケートをわけたほうがよいが、このアンケートで行くなら、利用形態を尋ねる質問を入れたほうがよい。また、3ページに載せている主な公共施設は、もう少し絞ってもよいのではないか。もう一つ、アンケートの中身が難しいと市民は読まないのも、もう少し単純にしたほうがよいのではないか。

○委員

7ページに図を使った説明があるが、先ほどの説明を聞いて初めて理解することができた。市民はこれを見てもイメージがわからないのかなとも思う。

○アジア航測（東口）

アンケートの内容をわかりやすいものにしなければいけないと感じた。フォーマット等についても、検討したい。

○委員

質問も回答も2行以上にならないようにしたほうがよい。また、3ページの表は見にくいので、フォントを調整したり、改行して見やすくしたほうがよい。

○会長

様々な意見がでたが、修正は可能か。

○事務局（平松）

全ての意見を踏襲するのは難しいが、可能な範囲で修正する。修正後のアンケートは各委員に送付する。

○委員

回収率を高めるために、アンケートが届いたとき開けてもらえる工夫も必要。封筒に色をつけたり、重要と書くなどの案があるかと思う。また、今後の委員会について、道路等のインフラの方針についても議論していくことがあるのか。

○事務局（岡）

公共施設等総合管理計画については、公共施設（ハコモノ）についての議論と考えている。また、行政改革推進計画についても平行して進めていくのでよろしく願います。

○委員

ここでは関係ない話かもしれないが、大島には伝建保存地区交流拠点施設があるが、お金をかけて整備されてもほとんど利用されていない。この辺の洗い出しが必要だと思う。

○事務局（平松）

3ページの主な施設の中にその施設は載っていないが、総合管理計画の中ではその辺の方針も建てていくことになる。

○委員

公共施設の見直しの中で、財政面からの視点はあるが、安全面からの視点はどうか。

○事務局（長嶋）

現地調査で現在の老朽化が進んでいるのか確認する。総合管理計画の中では、耐用年数を考慮した施設の長寿命化方針を建てていくことになる。

○アジア航測（東口）

財政面、利用面だけでなく、施設の重要度も判断基準となり、総合的に判断して施設の見直しを行っていく。

○委員

捕捉だが、団体にはヒアリングをしたほうがいいかもしれない。団体の方のほうが、施設の改善点についての意見を持っていると思う。

○事務局（岡）

施設の担当課を通せば可能だと思う。総合管理計画にも反映していきたい。

○委員

例えば公民館の利用頻度を答えるとき、未来創造館と大島村離島開発総合センターの利用頻度が違うときはどのように回答すればよいのか。

○委員

本来なら、すべての施設を載せて、地区ごとに関係する施設を利用しているかどうかをアンケートすれば集計もしやすい。

○事務局（岡）

このアンケートでは、施設分類ごとに利用頻度がどうかという質問になっている。3ページで、その施設分類は具体的にこういう施設があるという例を載せている。これがかえってまぎらわしくなっているようなので、表現を変えたり工夫したい。

○委員

いっそこの質問は、地区ごとに分けたらどうか。

○委員

そうなると本島の中でも北中南に分けてアンケートをすることになり、どこまでが地区で利用する施設か線引きが難しく、收拾がつかなくなる。平戸全体の意識調査ということであればこのままでよい。

○委員

平戸全体で見るということであれば分ける必要はないが、これをそのまま地区の結果とは言えないということ。

○会長

まずはこのアンケートで全体を見て、詳細は次の段階ということである。他に意見がなければ、ここで市民アンケートについての質疑応答を終了する。次に、次回開催日程について事務局より願います。

○事務局（長嶋）

今回のアンケート結果をまとめたところで4月中旬頃の開催を予定しているが、委員の皆様の都合はいかがか。

○全委員

異議なし。

○会長

次回がスムーズに進行するよう、本日の内容を復習して臨んでいただくようお願いする。以上で、第4回平戸市行政改革推進委員会を終了する。

— 閉会（11:50） —